

平成31年度のまちづくり

市政執行方針

第1回定例市議会において、村上市長が本年度の市政執行方針演説を行いました。

市政執行方針は、新年度にどのようなまちづくりを行うのかを明らかにするもので、この方針に基づいて各事業を進めるものです。

そこで、総額51億6,254万5千円の新年度予算とともに、その概要についてお知らせします。

1 市民と協働で創るまち

- 住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、市民自らが、まちづくりや地域課題に関心を持ち、取り組むことが不可欠であり、地域団体等が取り組む地域づくり活動に対して、必要な支援をさらに拡充・継続し、行政と市民が「ともに考え、ともに行動する」協働のまちづくりを今後も推進します。
- 「広報うたしない」をわかりやすく親しみやすい紙面にするため、広報モニターからのご意見を反映しながら、文字の種類や大きさ等を含め紙面編集の工夫に努めます。
- 市の公式ホームページやフェイス

● ブックページは、より早い情報提供の場として更新の頻度を高め、見やすくて的確な情報発信に努めます。

● 市民ニーズの把握や行政情報の共有等を目的に、引き続き町内会連合会との情報交換会、小中学生との語る会やふれあい市長室等を開催し、市民と直接対話する機会を設けます。

● 中学生を対象に地区連合が実施している原水爆禁止世界大会への参加に加え、今年度から希望する市民も参加できるよう助成制度を設け、市民の平和に対する意識のさくらなる高揚を図ります。

2 活力と魅力あふれるまち

- 商工業の振興
- 商工会議所が行う商業振興及び消

職員の自己啓発と資質向上のため、先進地への自主研修を継続します。また、行政実務能力や政策形成能力の習得を目的とした自治大学校への派遣研修を、昨年度に引き続き実施します。

限られた財源を効率的、効果的に活用し、中長期的に持続可能な財政構造を確立しながら、将来世代に過大な負担を残さぬよう財政の健全化に努めます。

● 中空知広域市町村圏組合による圏域としての共通認識、相互補助及び創意工夫を図り、中空知定住自立圏形成協定に基づき、圏域市町が各種取り組みを連携して推進するとともに、北海道空知地域創生協議会において空知全体の活性化や魅力発信のための広域的事業を推進することにより、住みよい地域づくりに努めます。

● 空知炭礦グループによる露頭炭採掘事業の継続並びに安定操業に向けて、関係機関と連携のもと、引き続き支援します。

■鉱業の振興

● 空知炭礦グループによる露頭炭採掘事業の継続並びに安定操業に向けて、関係機関と連携のもと、引き続き支援します。

■農業の振興

● ワイン用ぶどう試験栽培事業が4年目を迎え、1,300本の苗木を新植するとともに、初の収穫と試験醸造を予定しております。今後6次産業化に向け取り組みます。



● 春秋のエゾシカ一斉駆除はもとより、住宅付近での目撃が増えているヒグマ対策として、出没区域への巡回強化など、獣友会や警察、近隣市町と連携のもと取り組みます。

- 観光事業の推進**
 - 情報発信事業は、指定管理期間が終了した道の駅附帯施設を活用し、新たに地域おこし協力隊を採用のうえ実施します。
 - 土産品づくりについては、各種素材を活用したオリジナルの商品開発及び「特産品開発支援事業」の活用促進を図ります。
- 地域間交流の促進**
 - 歌志内振興公社が経営するチロルの湯については、より一層のサービス向上及び新たな利用者開拓により増収を目指すなど、経営の安定化に向けた指導や、市民の健康増進施設として必要な施設改修等に係る支援を行います。
 - 初の試みとして、ロマン座裏など上歌地区のペンケウタシユナイ川にヤマメを放流し、釣りを通してぎわいづくりや、川の大切さをアピールする機会を設けます。
 - 労働行政の推進
 - 商工会議所やハローワークなど関係機関との情報共有や、広報等を利用した各種制度の情報提供、さらには合同企業説明会への参加促進など、雇用の確保に努めます。
 - 定住化の促進
 - 住宅建設等奨励金制度の継続、子育て支援や教育の充実など、各種

制度を総合的にPRし、定住の促進を図ります。

■地域間交流の促進

- 交流人口を増やす取り組みとして、冬の風物詩である「なまはげ祭」や「市民祭り」の開催など、積極的に活動されている諸団体への支援を継続し、地域活性化に結びつけます。



3 健康で心ふれあうまち

■地域福祉の推進

- 「歌志内市地域福祉計画」に基づき、複雑化・多様化した福祉課題に着実に取り組むとともに、昨年度移転した社会福祉協議会との連携を図り、同施設が地域活性化の拠点として有効的に活用されるよう引き続き支援し、市民が安心して自立した生活を送ることができるものと実現を目指します。

■児童福祉の推進

- 認定こども園の開設により、希望するすべての子どもに幼児教育・保育を一貫的に提供できる体制になつたことから、質の高い教育・保育を確保するとともに、子どもたちの体験学習や異年齢との交流機会を充実します。



展開を図ります。

■移動手段の確保が困難な高齢者の自立した生活を支援するため、新たに75歳以上の市民全員を対象に、1人当たり6,000円のタクシーカードの助成を行うほか、これまでの高齢者等生活支援事業を見直し、介護度、障害等級別に助成費用を拡大します。

- 昨年度から開始した「生活支援体制整備事業」は、今後の「地域包括ケアシステム」への円滑な構築に結びつけることが必要であるため、生活支援コーディネーターを中心として市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、高齢者に必要な資源の開拓・整備を関係機関と一体となつて進めます。

■保健行政の推進

- 「歌志内市健康増進計画」に基づき予防対策事業及び健康づくり事業を継続実施します。

- 新たに「健康ポイント事業」を実施し、健康づくりへの無関心層の掘り起こし、健康診査・がん検診の受診や健康づくり事業等への参加を促します。

■歯科保健対策として、糖尿病を悪化させるとともに早産のリスクを高めると言われている歯周病の予防・早期治療のため、妊婦及び40歳以上で糖尿病が疑われる方を対象とした歯科健診を新たに実施します。

- 精神保健対策事業として、在宅における精神障害回復者の通所に係る交通費を、これまでの半額助成から全額助成に拡大します。

■障がい者福祉の推進

- 「歌志内市障がい福祉計画」に基づき、各種サービスの提供を推進とともに、障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていけるよう、障がい者の自立と社会参加の促進を図ります。

- 高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して生活が続けられることを主体に、各種事業の継続と支援

展開を図ります。

■「歌志内市障がい福祉計画」に基づき、各種サービスの提供を推進とともに、障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていけるよう、障がい者の自立と社会参加の促進を図ります。

- 「歌志内市障がい福祉計画」に基づき、各種サービスの提供を推進とともに、障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていけるよう、障がい者の自立と社会参加の促進を図ります。

■病院事業の運営

- 病院運営の指針としています「歌



- 可燃ごみの処理については、本市に建設された中・北空知廃棄物処理広域連合の焼却施設において円滑に適正処理されるよう、広域連合等と連携を図るとともに、広域連合から受託した焼却灰を処理する専用施設として、東光最終処分場を適正に管理運営します。
- 流域下水道組合と連携を図りながら、適正な共同し尿処理に努めます。
- 消防行政の推進
- 災害の多種多様化、大規模化に対する消防体制の確立を図るため、消防職員の連携強化に努めます。
- 火災予防については、防火対象物への立入検査による違反是正を徹底し、防火指導等による啓

- 資源回収奨励金の交付による、資源回収団体の活動を支援することにより資源物の回収を促進するなど、市民、地域、団体等と協働で、ごみの減量と再資源化を推進します。
- 可燃ごみの処理については、本市に建設された中・北空知廃棄物処理広域連合の焼却施設において円滑に適正処理されるよう、広域連合等と連携を図るとともに、広域連合から受託した焼却灰を処理する専用施設として、東光最終処分場を適正に管理運営します。
- 流域下水道組合と連携を図りながら、適正な共同し尿処理に努めます。
- 防犯対策
- 犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指し、自主防犯活動に取り組む諸団体への支援など、関係機関との連携を密にし、地域ぐるみによる防犯体制の強化に努めます。
- 交通安全の推進
- 今後も交通事故のない安全なまちづくりを進めるため、関係機関・団体と連携した交通安全運動及び啓発活動を通じ、交通安全意識の高揚と交通マナーの向上に努めたとともに、交通事故抑止に向けた

紙・巡回による啓発を行い、環境美化に努めます。

- 資源回収奨励金の交付による、資源回収団体の活動を支援することにより資源物の回収を促進するなど、市民、地域、団体等と協働で、ごみの減量と再資源化を推進します。
- 救急業務については、メディカルコントロール体制及び救急隊員の知識、技能を高める生涯教育を充実し、救急救命体制の高度化を進めます。

発活動の強化を図り、無火災の達成に努めます。

■ 消費者行政の推進
対策を推進します。

- 複雑・巧妙化する悪質商法や振り込め詐欺等の消費者被害の未然防止と被害相談等の迅速な対応を図るため、滝川地方消費者センター・関係機関と連携をし、消費者保

※具体的な施策などについては、教育行政執行方針で、くわしくお知らせします。

教育行政執行方針

第1回定例市議会において、村上市長の市政執行方針演説に続き、森塚教育長が平成31年度にのぞむ教育行政執行方針について演説を行いました。

教育行政執行方針の主な内容は次のとおりです。

1 幼児教育の充実

- 昨年度開園した歌志内認定こども園「あおぞら」と、幼児教育の充実等について、引き続き、保健福祉課と連携し、教育・保育が提供できるよう努めます。
- 今後も交通事故のない安全なまちづくりを進めるため、関係機関・団体として最大限努めます。
- 昨年度から小学校で実施している、1年生からの英語教育やロボットを使つたプログラミング教育をはじめ、新学習指導要領の完全実施

2 学校教育の充実

- 平成33年4月に、小学校と中学校

護に努めます。

5 豊かな心を育む 教育と文化のまち

に向け、「生きる力」の理念をもとに、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の視点で、この時代における重要性をあらためてとらえなおし、その具現化とともに「義務教育9年間の教育課程」の枠組みを作ります。



平成31年度 当初予算の概要

当初予算の概要

として、非常用発電機を新設するなど、市民が安全で安心して生活できる環境の整備を推進します。

支援サービス事業を見直し、介護度・障害等級に応じた助成費用の拡大を行います。

平成31年度予算総額は51億6,254万5千円で、前年度当初に比べ、2.7%の減となりました。

平成31年度のまちづくり

平成31年度の予算は、現在進めている「歌志内市総合計画」と「歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を重点プロジェクトとし、集中的なまちづくりの推進に向け、総合戦略が目指す『オンラインの子育てと教育による人づくりを大切にするまち』の実現を確実なものにするため、「子育て支援・教育環境の充実」、「住民生活の安全確保」及び「住民福祉の充実」、「良好な住環境の整備」、「魅力ある産業づくりと地域振興」を基本としながら、限られた財源の中で最大限の効果を発揮させるため、「優先順位」や「スクラップアンドビルト」など、事業効果を適切に検証し、重点プロジェクトの着実な推進を主眼としました。

「住民生活の安全確保」については、災害発生時など、指揮・情報収集の中核施設となる庁舎の停電対策

0円分のタクシー券の交付や、各種健康診査の受診率の向上のため、健康ボイント事業を新たに実施し、健康診査等への参加を促します。

「良好な住環境の整備」については、都市計画マスタープランの策定に着手するとともに、新たに屋上防水・外壁塗装を実施し、市営住宅の長寿命化を図る一方、集約化に向けた解体除却を推進し、コンパクトで機能的なまちづくりを進めます。

「魅力ある産業づくりと地域振興」については、ワイン用ぶどう試験栽培事業が4年目を迎え、初の収穫と試験醸造を予定しています。

また、市民ニーズの高いプレミアム付商品券発行事業の拡充、初の試みとしてベンケウタシユナイ川にヤマメを放流し、釣りを通してにぎわいづくりや、川の大切さをアピールする機会を設けます。

このほか、新たな事業としては、在宅における精神障害回復者の通所に係る交通費を半額助成から全額助成に拡大、これまでの高齢者等外出

31年度の予算総額は51億6,254万5千円

会計別	31年度当初予算額	30年度当初予算額	増減	伸び率
1. 一般会計	40億2,000万円	40億8,000万円	△6,000万円	△1.5%
2. 特別会計	4億6,700万円	5億1,250万円	△4,550万円	△8.9%
①公共下水道	2億7,000万円	2億8,840万円	△1,840万円	△6.4%
②神威岳観光	800万円	2,400万円	△1,600万円	△66.7%
③国民健康保険	1億300万円	1億1,500万円	△1,200万円	△10.4%
④後期高齢者医療	8,600万円	8,510万円	90万円	1.1%
一般・特別会計合計	44億8,700万円	45億9,250万円	△1億550万円	△2.3%
3. 病院事業会計	6億7,554万5千円	7億1,399万1千円	△3,844万6千円	△5.4%
全会計の総計	51億6,254万5千円	53億649万1千円	△1億4,394万6千円	△2.7%

一般会計当初予算の概要

本市の基本的な経費を計上している一般会計について、各支出科目別の主な使い道や、前年度当初予算と比較したときの主な増減などは次のとおりです。

なお、【】内の数字は、本年2月末の人口3,252人で算出した市民1人当たりの予算額です。

前年度と比べ4,252万7千円減少となりました。

衛生費 4億4,292万2千円
【136,200円】

保健予防対策やごみ処理、環境衛生などに使われる経費で、砂川地区保健衛生組合負担金の減などにより、前年度と比べ2,613万円減少となりました。

商工費 1億4,284万8千円
【43,926円】

商工業の振興対策や観光振興などに使われる経費で、観光情報発信事業補助金、市営神威岳観光特別会計繰出金が減となる一方、観光施設活性化推進事業の施設改修事業の増などにより前年度と比べ1,753万2千円増加しました。

土木費 4億9,484万7千円
【152,167円】

道路整備や除排雪、公営住宅の整備などに使われる経費で、道路改修事業、市営公共下水道特別会計繰出金の減などにより、前年度と比べ2,622万8千円減少となりました。

府舎管理費や徴税、戸籍、選挙、統計調査、監査委員などにかかる経費で、市議会議員選挙経費、府舎改修事業の発電機設置の増などにより、前年度と比べ3,233万6千円増加しました。

総務費 2億2,406万3千円
【68,900円】

議員報酬や議会の運営に使われる経費で、備品購入費の増などにより、前年度と比べ150万9千円増加しました。

民生費 10億4,951万9千円
【322,730円】

高齢者サービスや生活保護費、障がい福祉サービスなどに使われる経費で、デイサービスセンター改修事業、生活保護事業の減などにより、

減などにより、前年度と比べ2,048万9千円減少となりました。

教育費 1億8,534万円
【56,993円】

学校教育や社会教育の振興などに使われる経費で、義務教育学校設置に向けた実施設計委託料が増となる一方、コミュニティセンター改修事業の減などにより、前年度と比べ1,48万6千円減少となりました。

職員費 8億8,061万7千円
【270,792円】

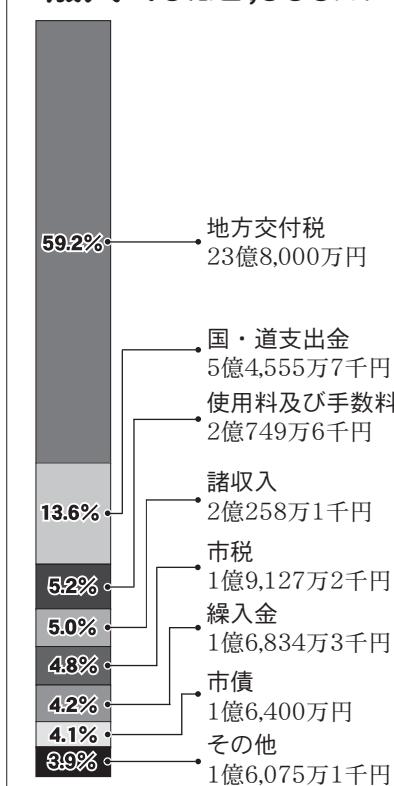
市職員の給料などを支払う経費で、前年度と比べ2,84万6千円増加しました。

事業のために借り入れた市債の返済金で、前年度と比べ1,809万2千円増加しました。

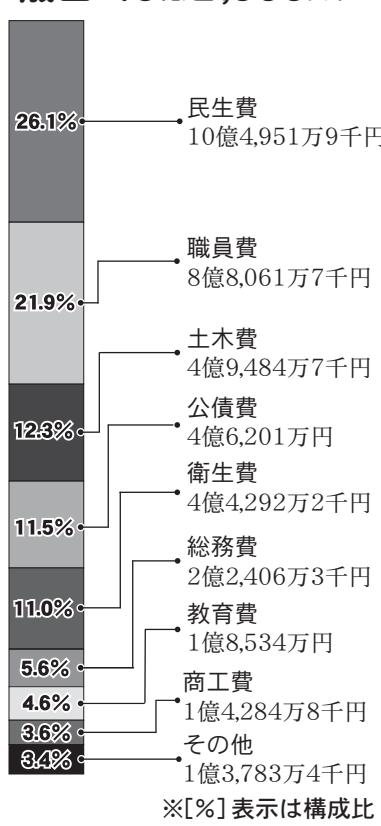
公債費 4億6,201万円
【142,069円】

事業のために借り入れた市債の返済金で、前年度と比べ1,809万2千円増加しました。

■一般会計歳入歳出当初予算 歳入 40億2,000万円



歳出 40億2,000万円



平成31年度の主な事業と予算

①市民と協働で創るまち

- 町内会連合会との行政情報・意見交換会、ふれあい市長室
- 小・中学生との意見交換会
- 町内会・自治会に対する行政協力費
- 地域づくり活動支援事業（補助率1／2→2／3）
- 総合計画及び第2期総合戦略の策定
- 広報広聴活動（広報「うたしない」発行）
- 非核平和活動（原水爆禁止世界大会参加助成事業）
- 市有財産の解体除却（旧神威保育所、旧東光浴場ほか）
- 効率的な行政運営
- ▽総合行政システム等の運用及び保守
- 定住促進事業
- ▽移住のPR活動（首都圏でのPR）

等（広域事業含む）
138万9千円

- 地域づくり活動支援事業（補助率272万7千円）
- ワイン用ぶどう試験栽培事業（初回収穫に伴う試験醸造など）
- 地域おこし協力隊事業（観光情報発信、教育文化）
- 中小企業振興保証融資事業預託金
- プレミアム付商品券発行事業（3,000セット）
- ヤマメの放流（約4,000匹）
- イベント等への補助金等
- ▽市民まつり実行委員会
- 特産品開発支援事業

100万円
1,062万7千円
756万2千円
3,000万円
1,040万円
7万4千円
7万4千円
116万6千円
483万9千円
100万円
1,722万円

②活力と魅力あふれるまち

- ▽定住促進助成事業（住宅建設等助成）
500万円
- ふるさと応援寄附金（クレジットカード決済導入）
694万1千円
- ワイン用ぶどう試験栽培事業（初回収穫に伴う試験醸造など）
15万2千円
- ▽18歳までの子ども医療費の無料インがん検診等
433万2千円
- 温泉施設利用優待事業（高齢者・障がい者等）
260万1千円
- 社会福祉協議会への施設運営等委託
141万9千円
- シルバーハウジング（東光・神威）
798万7千円
- ▽食の自立支援（給食宅配サービス）
3,000万円
- 不妊治療費助成
152万5千円
- 病院事業会計繰出金
2億3,031万4千円
- コンパクトなまちづくり
5千円から1万5千円）
5千円から1万5千円）
- ▽外出支援助成事業（75歳以上の全市民へ1人当たり6千円分のタク

③健康で心ふれあうまち

- ▽認定こども園運営事業
1,863万4千円
- ※保育料及び給食費の無料化分（3歳）
15万2千円
- 介護予防普及啓発事業（社協へ事業委託）
329万2千円
- 精神保健対策事業（精神障害回復者通所施設等交通費の全額助成）
37万6千円
- 自己負担額500円とするワントインがん検診等
373万6千円
- 健康ポイント事業
18万円
- 妊婦健康診査助成（一般14回、工業14回）
141万9千円
- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種料の無料
129万2千円
- 病院事業会計繰出金
2億3,031万4千円
- コンパクトなまちづくり
5千円から1万5千円）
5千円から1万5千円）
- ▽外出支援助成事業（75歳以上の全市民へ1人当たり6千円分のタク

④安心して快適に暮らせるまち

- ▽施設改修事業補助金（アリーナチロル屋根改修、客室トイレ設置など）
4,593万8千円
- ▽アリーナチロル活用推進補助金
900万円
- 介護予防普及啓発事業（社協へ事業委託）
158万7千円
- 敬老事業
154万円
- 包括的支援事業
296万6千円
- シーケンス交付
442万1千円

■ 移転補償（改良、市営住宅）	16件	281万6千円
▽ 都市計画マスター・プランの策定	300万円	
■ 市営住宅の整備		
▽ 屋上防水・外壁塗装（公営住宅）		
2棟26戸	7,253万3千円	
▽ ボイラーアップ（改良、公営住宅）		
2棟29戸	1,861万円	
▽ 管理灯取替（LED化・改良、公営住宅）		
235万2千円		
▽ 内部改修（改良、公営住宅）		
1,000万円		
▽ 防護柵改修（改良住宅（歌神一地区））		
328万4千円		
▽ 火災報知器更新（改良426個、公営117個）		
375万4千円		
■ 共用灯電気料（改良、公営住宅）の全額市負担	425万6千円	
■ 住宅改修促進助成事業	600万円	
■ 歌志内線代替バス運行経費補償金	1,054万4千円	
■ 有害鳥獣対策経費	357万7千円	
■ 小規模治山事業	1,067万円	
■ 防犯灯改修（LED化）	385万1千円	
■ 防災対策		
▽ 厅舎非常用発電機新設	408万3千円	
▽ 地域防災計画の改定		
▽ 浸水対策事業（沢町川改修、防災車庫、発電機の整備ほか）		
3,493万円		
■ 豊かな心を育む教育と文化のまち		
■ 高等学校等就学支援		
828万円		
■ 小学校スクールバス運行業務委託		
695万7千円		
■ 英語検定料の全額補助		
22万3千円		
■ 義務教育学校改修実施設計		
567万6千円		
■ 外国青年招致事業（外国语指導助手）		
424万2千円		
■ コミュニティセンター整備		
▽ 移動観覧席ローラー交換		
421万2千円		
▽ エレベーター更新		
1,414万円		
▽ ベビーシート設置		
28万1千円		
■ 学校給食費値上げ分の市負担		
202万9千円		

平成31年度 移動収納車巡回日程

平成31年度の移動収納車巡回日程は下表のとおりです。毎月2回運行しますので、ご利用ください。

▶取り扱い税目 市道民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、住宅使用料、介護保険料、上下水道料、各種使用料など。

▶問い合わせ 市民課税務グループ（市役所1階☎42～3217）

各月の巡回日				巡回時間・場所（各月共通）	
4月	17日(水)・26日(金)	10月	17日(木)・30日(水)	9:00～9:20	文珠第三町内会館前
5月	15日(水)・30日(木)	11月	15日(金)・29日(金)	9:25～9:35	文珠バス停横
6月	18日(火)・28日(金)	12月	17日(火)・26日(木)	9:40～9:55	文珠しらかば町内会館前
7月	16日(火)・30日(火)	1月	15日(水)・30日(木)	10:00～10:20	社会福祉協議会前
8月	19日(月)・30日(金)	2月	18日(火)・28日(金)	10:25～10:35	文珠西歌団地前
9月	17日(火)・27日(金)	3月	16日(月)・27日(金)	10:40～10:50	中村地区集会所駐車場
				11:00～11:10	神威神楽岡公園前
				11:15～11:25	神威経塚工業営業所横

※本年度より次のとおり変更となりますので、ご注意ください。

▷巡回場所の変更：変更前「文珠第一町内会館前」→変更後「文珠西歌団地前」